

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》○浅野雅子 山田桃子 井上恒志郎 児玉壮志 泉唯史 浅野葉子 佐藤一成

【概 要】

本講義では、大学生活を送る上で必要となる日本語表現力や、社会人として求められる基礎的な日本語表現力を身につけることのほか、医療人として必要な論理的文章表現ができることを目的とする。

【学習目標】

一般目標

社会人および医療人にとって必要となる、基礎的な文章表現力を身につける。

行動目標

1. 解りやすく明快な文章が書ける。
2. レポートを書く上での基本的技法を習得する。
3. 医療人として必要な基本的文章を表現することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1) 2	ガイダンス、公的な文章表現の基本	・授業の概要について理解する ・話し言葉と書き言葉の違いなど、公的な文章表現の基本を学ぶ ・分かりやすい文章を書くための注意点を学ぶ	山田桃子
3) 4	文章読解と要約の基本	・文章読解の基本を学ぶ ・要約の基本を学ぶ	山田桃子
5) 6	要約課題の作成／事実と意見	・要約課題を作成する ・事実と意見の違いや、その繋ぎ方について学ぶ	山田桃子
7) 8	レポート作成の基本／情報の種類と探索／引用・出典の書き方	・他者の意見など、先行研究をふまえたレポート作成の基本を学ぶ ・情報の種類や注意点、探索の仕方について学ぶ ・引用や出典の書き方を学ぶ	山田桃子
9) 10	要約課題の講評／レポート課題の作成	・返却された要約課題の講評を理解する ・指定されたテーマのレポート課題を作成する	山田桃子
11) 12	実践レポートの書き方	・図表の作成の仕方を学び、実際に作成する ・引用方法について学ぶ ・チェックリストを用いて推敲・校正作業を行う	泉唯史
13) 14	臨床実習に関連した文章表現1、2（課題提出）	・Eメールと手紙の書き方を学ぶ ・Eメールと手紙を実際に作成する課題を提出する	浅野葉子 佐藤一成 山田桃子
15	臨床実習に関連した文章表現3（課題提出）	・Eメールと手紙の書き方に関する課題を提出する（テスト）	浅野葉子 佐藤一成 山田桃子

【評価方法】

ミニテスト50点（出席を兼ねた毎回の小テスト、手紙とEメールの課題）、要約課題20点、レポート課題30点で、あわせて評価する。

*課題は、採点ないし添削を行って返却する。

【備 考】

教科書 ： なし

参考書 ： 必要に応じて資料を別途配布する。

その他 ： 以下の点に留意すること。

- ・文章を書く際には他者へ伝わる明快な文章となるよう日頃から心がけること。
- ・これから4年間の学びの上で基礎となる授業であること、臨床実習に則した内容であることから、能動的態度で臨むこと。

【学習の準備】

1回の授業につき、予習1.5時間、復習1.5時間（授業時間外の学習時間の合計45時間）を要する。予習では、課題のレポート執筆が中心となる。復習では、授業内容およびフィードバックされたレポートの確認が学習の中心となる。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。